令和８年度　目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組№
総合水沢病院	1

基本理念		市民の健康を支える面倒見のいい病院	
今年度の重点取組事項等	①重点取組項目	地域包括ケア病床の段階的な増床	
	②具体的目標	将来的な地域医療病棟の導入を視野に、地域包括ケア病床の拡大を進めるため、一先ず現行の 24 床を 28 床へ増床する。 また、状況を確認しながら段階的な当該病床の増床を行う。	
	③課題	・増床に伴う地域包括ケア病床の施設基準の維持 ・増床分の利用率の維持	
	④行動計画	内　容	時　期
		・地ケア病床増床分の見なし運用開始 ・地ケア病床増床分の本稼働 ・再増床に向けての検討	4 月 10 月 10 月以降
	⑤特記事項		
中間報告	⑥活動実績	・6 か月の試行期間を経て、10 月 1 日から 28 床へ 4 床増床した。	
	⑦目標達成状況	(5)・４・３・２・１	※5 段階（5:できている～1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	・試行期間中にリハビリ必要単位数の施設基準を満たせない課題が発生したが、リハビリテーション技術科及び病床運用委員会等で課題を検討し改善した。	
	⑨特記事項	・当該病床の稼働状況を確認しながら、更なる拡大等の方針について病床運用委員会を中心に検討していく。	
期末報告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	５・４・３・２・１	※5 段階（5:できている～1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		

令和８年度　目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組№
総合水沢病院	2

基本理念		市民の健康を支える面倒見のいい病院	
今年度の重点取組事項等	①重点取組項目	訪問診療件数の拡大	
	②具体的目標	当院として在宅医療の強化・拡大を図るため、今年度の訪問診療の実施目標を 180 件（月 15 件）として取り組みを進める。 ※6 年度：月 10 件、7 年度：月 12 件	
	③課題	これまで訪問診療を組織的に運用してこなかったため非効率な運用となっている。先進施設からノウハウを学び、効率的な運用体制を構築していく。	
	④行動計画	内　容	時　期
		・先進地の視察 ・新たな運用の検討、構築	6 月 7 月～
	⑤特記事項		
中間報告	⑥活動実績	・6 月 25 日に訪問診療の先進施設を視察 ・訪問診療件数は月平均 16 件で推移（新規契約患者 9 人）	
	⑦目標達成状況	(5)・4・3・2・1	※5 段階（5:できている～1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	・先進地視察で得た知見を実践し、患家での診療の効率化が図られている。 ・紹介患者を積極的に受け入れる体制を整備したことで、新規患者が増加している。	
	⑨特記事項	外来・入院・在宅医療までワンストップで医療が提供できるよう、退院支援の体制をさらに強化する必要がある。	
期末報告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	5・4・3・2・1	※5 段階（5:できている～1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		

令和８年度　目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組№
まごころ病院	1

基本理念		患者さんの、心の痛みを知る感受性と、患者さんの、身体の痛みをやわらげる医療技術とを。そして、共に、癒し癒されんことを	
今年度の重点取組事項等	①重点取組項目	介護保険施設等との連携強化	
	②具体的目標	・介護保険施設等との情報共有と他職種連携強化のため、情報交換会・勉強会を四半期ごとに１回開催し、参加施設３施設以上、満足度 80%以上を目指す。 ・病院と介護保険施設等とで行うカンファレンスを効率的にするための体制整備（ICT による情報連携）を進める。	
	③課題	・病院・介護保険施設間での情報共有の方法が統一されていない。 ・病院と介護保険施設の役割や視点が異なることを、お互いに理解していない。 ・ICT 運用に必要な運用体制の整備が必要。	
	④行動計画	内　容	時　期
		・定期連携会議の開催 ・介護保険施設等への訪問歯科診療の情報提供 ・介護保険施設職員等との合同勉強会を企画し、相互理解を深める（急変兆候、栄養、褥瘡、服薬、リハ等） ・ICT 推進チームの設置を ・ICT による情報連携の試行 ・ICT による情報連携の運用開始（2 施設） ・退院後 48 時間以内に電話でフォローアップ連絡を入れる（実施率 100%）	７月、12 月 随時 四半期ごと１回 ５月 ８月～9 月 10 月 随時
	⑤特記事項		
中間報告	⑥活動実績	・定期連携会議を７月２施設、８月１施設と開催した。 ・6 月に近隣施設（７施設）との情報交換会を開催し、その中でミニ学習会を実施した。 ・ＩＣＴによる情報連携は、2 施設と協議を行い、8 月にテレビ電話の導通試験を行い、手順書を作成した。 ・48 時間以内のフォローアップ連絡は 100%実施している。	
	⑦目標達成状況	５・４・(３)・２・１	※5 段階（5:できている～1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	・合同勉強会については、開催計画を立てていたが予定が合わず計画どおり実施できなかった。	
	⑨特記事項		
期末報告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	５・４・３・２・１	※5 段階（5:できている～1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		

令和８年度　目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組№
まごころ病院	2

基本理念		患者さんの、心の痛みを知る感受性と、患者さんの、身体の痛みをやわらげる医療技術とを。そして、共に、癒し癒されんことを	
今年度の重点取組事項等	①重点取組項目	医科・歯科連携の強化	
	②具体的目標	①入院患者及び在宅患者の口腔環境の改善 ②患者の全身状態を踏まえ医科からの歯科紹介件数を増やす 入院３件/月以上　外来３件/月以上	
	③課題	・口腔ケア手技が統一されていない ・口腔状態の評価が不十分である ・医科・歯科の情報共有が不十分である	
	④行動計画	内　容	時　期
		①入院患者及び在宅患者の口腔環境の改善	
		・口腔状態スクリーニング検査の実施（入院、外来、在宅）	随時
		・病棟口腔ケアフォロー依頼を月１件以上行う	随時
		・歯科から口腔ケア手技について病棟関係者研修会を開催する	６月、11 月
		・多職種で摂食嚥下・栄養回診を実施する	年４回
		・嚥下機能低下の時は、リハビリスタッフや栄養士と連携し、口腔機能訓練の実施や嚥下調整食を提供する	随時
		②患者の全身状態を踏まえ医科からの歯科紹介件数を増やす	
		・歯科受診、口腔ケアの重要性を待合モニターに掲示する	通年
		・連携室だよりに歯科、口腔外科、訪問歯科診療について掲載する	年２回以上
		・糖尿病患者の歯周病の管理を行う	随時
	⑤特記事項		
中間報告	⑥活動実績	・口腔ケアに係わるスタッフを対象に研修会を実施し、参加できないスタッフは録画を視聴することで、口腔ケアの重要性や具体的な方法について情報共有し、知識向上を図った。 ・入院患者を対象とした無料歯科検診を 9 月中旬から開始し、歯科治療を希望される患者へは必要に応じ対応している。 ・待合モニターに糖尿病と口腔健康の関係について掲示している。 ・嚥下機能低下の患者へは、多職種で連携し口腔機能評価を行い、嚥下食の調整や食事姿勢の調整を行っている。	
	⑦目標達成状況	５・(４)・３・２・１	※5 段階（5:できている～1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	・医科歯科の合同会議を多くし、対応したことが実績に結び付いている。	
	⑨特記事項		
期末報告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	５・４・３・２・１	※5 段階（5:できている～1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		

令和８年度　目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組№
前沢診療所	1

基本理念		思いやりの心をもち　心身を両面からみる頼れるかかりつけの診療所	
今年度の重点取組事項等	①重点取組項目	健診の啓発と受診者数の増加	
	②具体的目標	健診受診者数の増加。 前年度比＋３％（7 年度：454 人→8 年度：468 人／+14 人） ※令和７年度に前年度比増の目標を達成できなかった。 令和８年度はドクターズクラーク配置による診療効率の向上をめざしており、診療時間効率で６%改善を目標としている。 期間限定の健診においては、この半数を増加目標に準用した。	
	③課題	通院等をされていない方への受診勧奨機会の確保が難しいこと。	
	④行動計画	内　容	時　期
		・過去の健診実施歴を電子カルテに表示し、診察時に健診受診を促し、期間後半には未受診者を拾い出して受診を促す。 ・掲示等により５歳刻み等の対象年齢該当者への受診勧奨を行う。 ・「出前講座」、「健康フェスタ」等の診療以外の場面を活用した意識啓発を行う。	６～12 月
	⑤特記事項	健診と外来診療を同一の診療時間枠のなかで相互に時間を融通して実施し、健診のみならず経営全体の伸びを考慮する。	
中間報告	⑥活動実績	９月末時点での年間目標に占める受診者の割合は次のとおり。 R7 は 58.4%（268/486 人）→R8 は 78.2%（352/468 人）	
	⑦目標達成状況	５・④・３・２・１	※5 段階（5:できている～1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	住民に対する意識啓発や声がけで早期受診を促した。 ・過去の健診受診歴あり、当年度未受診者を電子カルテに表示 ・まえさわ健康フェスタ 2026 で所長が健診受診について講演 ・オリジナルポスターの掲示	
	⑨特記事項	健診の終了時期である 12 月まで取り組みを継続する。	
期末報告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	５・４・３・２・１	※5 段階（5:できている～1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		

令和８年度　目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組№
前沢診療所	2

基本理念		思いやりの心をもち　心身を両面からみる頼れるかかりつけの診療所	
今年度の重点取組事項等	①重点取組項目	患者満足度調査の実施と成果の活用	
	②具体的目標	平成28年再開所後10年、患者数や収益はほぼ増加してきたが、今後の伸びしろの限界を考慮しつつ、今後重要視される「地域のかかりつけ医」としての存在を持続的なものとするため、患者の意向を調査し、患者の定着理由等を分析して今後の経営に活用する。	
	③課題	意見箱を設置しているが、特段の投函はないことから、外来診療の一環として実施を予定。少なからず診療時間への影響は生ずる。	
	④行動計画	内　容	時　期
		・ スタッフの満足度調査を実施するとともに、患者満足度向上策の内部検討 ・ 調査内容及び調査対象の検討 （PS 患者満足度、PX 患者経験価値調査） ・ 調査協力依頼（外来診療時）、回収 ・ 調査内容の分析、今後の経営へのフィードバック	５～２月
	⑤特記事項	内部検討の場を年に２～３回設け、スタッフの意識高揚を図る。	
中間報告	⑥活動実績	診療所内部で患者満足度、職員満足度の調査を行うことを意識共有した。具体的な活動は下期に実施する予定。	
	⑦目標達成状況	５・４・③・２・１	※5 段階（5:できている～1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	上期は別件、健診受者数の増加に注力して現在に至る。	
	⑨特記事項		
期末報告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	５・４・３・２・１	※5 段階（5:できている～1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		

令和８年度　目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組№
衣川診療所	1

基本理念		思いやりの心を常に持ち信頼される地域医療をめざします	
今年度の重点取組事項等	①重点取組項目	特定検診・長寿健診の受診率向上と未受診者対策の強化	
	②具体的目標	・特定検診の受診者数を前年度（59 人）より 10%増（65 人）を目指す。あわせて、未受診者への受診勧奨を月５人以上実施する。	
	③課題	・健診の必要性が伝わっていない。 ・対象者の把握と受診状況の把握が不十分である。	
	④行動計画	内　容	時　期
		・対象者把握のため、対象者リストを作成。 ・健診受診啓発ポスターを掲示する。 ・外来受診時に健診の必要性やメリットを説明し受診を促す。 ・健診予約枠の確保。	５月から 12 月末まで 12 月末まで随時 12 月末まで
	⑤特記事項		
中間報告	⑥活動実績	・外来患者へ、健診受診を促す声がけをした。 ・健診に係るポスターを掲示した。 ・健診の予約枠を設けた。	
	⑦目標達成状況	５・４・３・[2]・１	※5 段階（5:できている～1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	・9 月末時点で 35 人の受診、目標達成率は 54% ・ポスター掲示による周知は行ったが、メリットを伝えきれず、対象者への受診勧奨が十分ではないと感じた。 ・健康診断と保険診療の同日受診はできないため、定期受診の機会を健診の受診行動へつなげることが難しい。	
	⑨特記事項	・下半期は、月 10 人、週２～３人程度の健診受診につなげられるよう、外来受診時の個別の声がけを強化し受診を促す。	
期末報告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	５・４・３・２・１	※5 段階（5:できている～1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		

令和８年度　目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組№
衣川診療所	2

基本理念		思いやりの心を常に持ち信頼される地域医療をめざします	
今年度の重点取組事項等	①重点取組項目	モバイルを活用した遠隔診療の実施	
	②具体的目標	・遠隔診療実施者数について、施設入所や死亡等により令和７年度末時点で７名と減少傾向にあることから、令和８年度末時点で実施者 12 名への増を目指す。	
	③課題		
	④行動計画	内　容	時　期
		・遠隔診療に適した患者の掘り起こしと患者への働きかけを行う。 ・遠隔診療実施者に対し、オンライン服薬指導を行う。	通年 随時
	⑤特記事項		
中間報告	⑥活動実績	・遠隔診療に適した患者 11 名に働きかけを行い、その内８名の患者には断られたが、１名は登録、残る２名は保留中である。 ・遠隔診療実施者の、オンライン服薬指導は実施に至っていない。	
	⑦目標達成状況	５・４・３・[2]・１	※5段階（5:できている～1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	・遠隔診療に適した患者でも、本人や家族の意向により通院が可能な間は対面診療を希望する患者が多い。 ・オンライン服薬指導実施予定者が施設入所したため。	
	⑨特記事項	・下半期も遠隔診療に適した患者への働きかけを継続して行う。 ・オンライン服薬指導を受けていただけるよう、患者への働きかけを行う。	
期末報告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	５・４・３・２・１	※5段階（5:できている～1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		

令和８年度　目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組№
衣川歯科診療所	1

基本理念		衣川地域唯一の歯科診療所として、地域住民の口の健康を守り、健康増進に寄与する	
今年度の重点取組事項等	①重点取組項目	へき地診療所としての医療提供体制の確保	
	②具体的目標	・多職種（医科・介護・訪問看護等）と連携した訪問診療・訪問口腔ケアを推進し、訪問歯科診療件数の増加を図る。	
	③課題	・訪問歯科診療の実施体制について、地域の医療・介護関係者及び住民への周知が不十分である。	
	④行動計画	内　容	時　期
		・訪問歯科診療体制の強化のため、所内における訪問対応時間の確保及び役割分担の明確化を行う。 ・地域の医科医療機関、介護事業所、訪問看護ステーション等への情報提供及び定期的な連携強化を図り、紹介体制の構築を進める。	８月末まで 随時
	⑤特記事項		
中間報告	⑥活動実績	・診療所内の体制整備を進め、訪問歯科診療は週 1 枠程度確保している。 ・ケアマネージャー、訪問看護ステーション等との情報共有を行い連携を進めた。 ・９月の多職種連携研修会で、メディカルケアステーション（MCS）を活用した連携事例を報告し、当院の訪問歯科診療の取組を周知した。	
	⑦目標達成状況	５・[4]・３・２・１	※5段階（5:できている～1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	・訪問診療の時間確保や訪問口腔ケアの実施、ケアマネージャー等との情報共有を進めることができたため。	
	⑨特記事項	・地域住民を対象とした出前健康講座を 12 月に実施予定。訪問歯科診療について説明し、地域への周知を図る。	
期末報告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	５・４・３・２・１	※5段階（5:できている～1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		

令和８年度　目標達成に向けた取組管理シート

施設名	取組№
衣川歯科診療所	2

基本理念		衣川地域唯一の歯科診療所として、地域住民の口の健康を守り、健康増進に寄与する	
今年度の重点取組事項等	①重点取組項目	・障がい児・障がい者の受入体制の構築	
	②具体的目標	・障がい児・障がい者に対応可能な診療体制（設備・対応手順）を整備し、受入患者数の増加を図る。	
	③課題	・障がい特性に応じた対応に関する知識・経験の更なる充実が求められる。 ・診療時の安全確保のための設備・環境整備が十分ではない。	
	④行動計画	内　容	時　期
		・障がい特性に応じた診療対応力の向上を目的として、外部研修会への参加を推進する。 ・診療時の安全確保を目的として、必要に応じた器具・備品の整備を進める。	年度内 ９月中旬まで
	⑤特記事項		
中間報告	⑥活動実績	・８月に医療型障害児入所施設で歯科診療研修を行い、歯科医師及び歯科衛生士２名が参加した。 ・それぞれの障がい特性に応じた安全な歯科診療を行うため、専用の診療用クッションや治療器具等を整備した。	
	⑦目標達成状況	[5]・４・３・２・１	※5 段階（5:できている～1:できていない）
	⑧達成又は非達成の要因	・研修への参加や必要な器具等の整備を行い、受け入れ態勢を整えてきたため。	
	⑨特記事項	・10 月にも医療型障害児入所施設での研修を予定しており、引き続き障がい児・障がい者の受入体制の整備を進める。	
期末報告	⑩活動実績		
	⑪目標達成状況	５・４・３・２・１	※5 段階（5:できている～1:できていない）
	⑫達成又は非達成の要因		
	⑬特記事項		